



長崎市立矢上小学校 学校だより

『笑顔が花咲く矢上小』

合い言葉「安全安心で楽しい学校 **もっと！**よく学び よく遊べ」

「歌声ひびくよ 矢上小！」

令和8年9月29日

NO. 21

校長 白水 聡

勉強も学校も

お子さんから「どうして勉強しなければいけないの？」と少々愚痴っぽくたずねられたことはありませんか？また、「なぜ学校に行かなければならないの？」とか「算数って将来なんの役に立つの？」とか。そうした子供のもやもやとした問いの答えを、私たち大人がまっすぐに伝えてあげることが大切なことだと思います。私もそうした疑問を抱きながら、できれば楽なほうに流れようとしていた子供時代でしたが、いざ親になって子供に問われたときには、「別に意味ないよ」「どうでもいいからやりなさい」などと安易に答えるわけにはいかなかったです。

そこで、「自分を守るため」「夢を実現させるため」「幅広い教養を身に付けるため」「学校は人とかかわる勉強の場でもある」「我慢の勉強です！」などと伝えた覚えがありますが、みなさんはいかがですか？果たしてAIは何と答えるのでしょうか？

答えは人生の数だけあるのですから正解はないと思いますが、勉強も学校も子供たちの豊かな育ちに向けて大きな価値があるということだけは、保護者の皆様と共通理解したいものです。

そんな勉強や学校が楽しい、友達や先生と会えるので行きたいということであれば、とても素晴らしいことではないかと思うのです。お子さんはいかがですか？

サギと金魚すくい



体育館前にある池をご存じでしょうか？ずっと前からありましたが、150周年記念行事の際に改修され、新たに金魚や鯉を放流して飼育しています。3年前には循環ポンプも購入していただき、噴水のような水が出ているのを見かけたことがある人もいるでしょう。

この池の金魚や鯉はえさを持って近づくと、口をパクパクと開けて寄ってくるほど慣れていたのに、3週間前くらいからその姿が全く見えなくなりました。

おそらくサギが原因です。目撃情報も寄せられましたし、屋上にとまっている姿を私も見つけたことがあります。飼育担当の江〇〇先生の話では、「網の一部が広がっていてそこから侵入したと思われる。実際に網が濡れていた。」とのことでした。

子供たちも心配して、残っている魚がいらないかなと毎日のように観察しています。「校長先生！一匹いました！」と報告してくれることもあり、エサを持っていくと今まで見たこともないスピードで逃げ回る魚の姿が確かに見えました。エサをくれる人まで疑うようになるとは、とても悲しい気持ちになりました。でも金魚の気持ちも推察できます。

現在、網に隙間がないように修繕しましたので、新たな金魚や鯉を入れたと考えています。そこでお願いがあります。最近あまり見なくなった金魚すくいですが、おくんちやイベントなどで楽しんだ後、たくさんとれすぎて分けてあげてもいいという方がおられましたら、一匹でもいいので学校の池にも放流していただけないでしょうか？いきなり入れるとよくないと聞いたことがありますので、寄贈可能ならば江〇〇先生や本校の職員に伝えていただきたいと思います。飼育委員の子供たちもきっとお世話を手伝ってくれることでしょう。

私も今度、金魚すくいがあったらチャレンジしたいと思っています。